

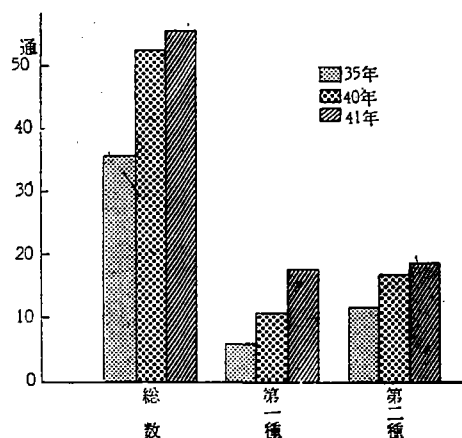
61. 郵便, 電報

人々がそれぞれの意志を適確かつ迅速に伝達する手段として、郵便、電報の持つ機能は極めて高く、その需要は社会経済の開発に比例して高くなる。

昭和41年における本県の郵便物は156百万通(対前年比+8.8%)に達し県民1人当たりでは56通の郵便利用がされている。

また電報は国内で417万通の利用があり、特に国際電報は14万通と急速に利用率が高まり、本県発展の一面を見せている。

県民1人当たり引受郵便物の推移



各年3月31日現在

年	郵便局				電報電話局		
	総数	普通局	特定局	簡易局	総数	直営局	委託局
昭和30年	336	13	299	24	327	17	310
35	340	16	305	19	348	18	330
39	366	21	327	18	166	27	139
40	383	22	340	21	169	25	144
41	393	22	348	23	161	26	135
42	409	23	361	25	159	36	123

年 度	引受通常郵便物数 (1 000通)						小包郵便
	総数 1)	普通郵便物			特 殊 郵便物		
		計	(うち) 第1種	(うち) 第2種			
昭和30年	64 941	50 414	12 602	26 322	1 872	605	
35	82 477	62 260	14 916	28 056	2 619	804	
38	114 983	85 068	26 438	36 780	4 510	984	
39	128 151	95 968	29 059	41 202	4 989	1 060	
40	143 299	107 395	30 536	46 410	5 402	1 202	
41	155 910	117 460	50 360	53 413	5 654	1 224	

年 度	電報取扱通数 2)					
	国内電報			国際電報		
	計	(うち) 発信	(うち) 着信	計	(うち) 発信	(うち) 着信
昭和30年	4 335 484	893 402	1 254 915	2 192	634	974
35	4 693 639	892 814	1 395 118	1 933	501	937
38	4 948 093	1 169 494	1 749 777	5 050	1 695	2 674
39	...	1 705 798	3 293	...
40年度	5 131 717	1 755 231	1 495 203	133 454	21 575	23 556
41	4 169 217	962 922	1 557 093	144 370	25 866	24 678

東京郵政局, 千葉電気通信部調

注) 1)年賀郵便,選挙郵便を含む。2)暦年。

41年度の国内電報は郵便局扱を除く数である。